

## 分散型電源導入にともなう施工・メンテナンスのネットワーク調査結果概要

### 1. 実施者

出光ガスアンドライフ株式会社

### 2. 調査概要

#### (1) 目的

燃料電池等の分散型電源は、コージェネレーション(熱電併給)によりエネルギーの総合利用効率を高められるため、その普及によりCO<sub>2</sub>削減など地球環境貢献が期待されている。

現状のLPガス販売事業者が分散型電源を普及させて行くためには、それをバックアップする技術力(床暖房等の温水利用機器及び電気関連の施工・メンテ対応力)を向上していかなければならない。

本事業では、LPガス販売事業者のこれら技術力の実態を把握し、地域単位でネットワーク化することにより合理化・高度化を図る為の課題・方向性を明確化し、販売事業者の技術力向上に資することを目的とする。

#### (2) 実施方法

販売事業者(150社程度)の床暖房等温水利用機器及び電気関連工事の実施状況、体制、資格等の実態をアンケート調査する。

LPガス販売事業者の課題を解明するとともに、対応策を検討する。

施工・メンテに関する合理化・高度化の為の、ネットワーク化を検討する

### 3. 調査結果概要

(1) LPガス事業者の施工・メンテナンスの実態は、LPG関連以外の施工・メンテ実施率は低く、特に電気に関する事業についてはほとんど取組まれていない状態であった。一方、LPガス販売事業者の分散型電源、特に燃料電池への期待の高さが分かった。また、分散型電源を取扱う上では販売～メンテナンスまでを取扱いたいとする事業者が多く、施工・メンテナンス・集中監視等のバックアップ体制の充実や補助金・規制緩和などの行政による支援が望まれていることが分かった。

(2) LPガス販売事業者が分散型電源に取組むためには、技術力向上(高度化)のための情報提供・教育研修等の充実と施工・メンテ・集中監視などを一括してサポートする拠点作り(合理化)が重要であることが考察された。

(3) ネットワーク(拠点)の構築には、LPガスの系列事業者(元売・卸事業者)が中心となり機器メーカー並びに地域施工業者を融合した組織作りが期待されている。分散型電源一括サポート体制のニーズは高く、今後、地域ごとに整備することにより、LPガス販売事業者の技術力向上に資することができることが分かった。

### 4. 補助金確定額

11,056,671円